

2009年度
“CO2ダイエットコンテストinおうみ”
グランプリおめでとう!
東近江市立能登川南小学校
～小学生が大人のエコ意識をかえた!!～

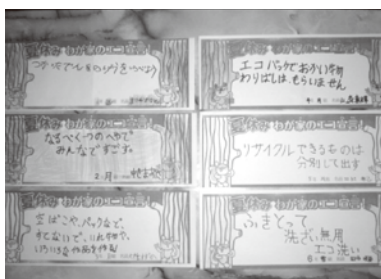
《入賞者紹介》

グランプリ

東近江市立能登川南小学校
「エコスクール活動」



ストックハウスでゴミ計量



我が家のエコ宣言



森林再生プロジェクト植樹



無駄電気節電チェック



手作り雨水タンク

【活動内容】

学校内部における環境教育という枠に収まることなく、小学校が地域の拠点となって環境活動に取り組んでおり、子どもが地域を巻き込み、地域は全体で子ども達の活動を支える体制が理想的に構築されています。特筆すべき点は、その活動内容を大人が決めるのではなく、企画段階から「今年はこの活動がしたい！」と子ども側から大人のサポート委員会へ提案があり、話し合いが持たれ、今年は何をするかを決め、実際の活動に至っているという点です。このことにより、子ども達はやらされるのではなく、

自ら考えて決めた事をやり抜く充実感や、活動の継続性が生まれてきているのではないのでしょうか。そして、この環境活動を通して、子どもの主体的に生きる力を育むとともに、それを受け止めている高校生やまちづくり協議会の大人達など、支援している地域の環境意識の向上にも寄与し、そこから地域や家庭での様々なCO₂削減の取組の輪の拡がりにつながっていることは、本当に素晴らしいことです。このような取り組みが、全国へ広がっていくことを期待しています。

準グランプリ

●草津市「小」エネルギー推進市民フォーラム

「市と市民がともに進めるゴーヤカーテン事業」

ゴーヤカーテンにより、室内の温度上昇を抑制し、冷房などの電気使用量を減らすとともに、省エネ意識を高め、地球温暖化の防止を図っています。

●滋賀県立大学環境マネジメント事務所（EMO）

「食でつなげる地域とキャンパス～地産地消プロジェクト～」

- ・輸送距離の短縮によりCO₂削減につなげます。
- ・地域とキャンパスのつながりを食でつなげ、より強固なものにします。

入賞

●『桜プロジェクトーわれら活動隊』

「『35年目のエコ・ニュータウン』

—いつまでも“活気あふれる、美しい街、エコタウン”をめざして」

- ・環境問題は
 - (1) 一人の百歩より、百人の一步から
 - (2) 継続は力なり（「これからの元気なふる里づくり」をめざす）
 - (3) コラボレーションで面展開を
- ・いつまでも活気のある、美しいエコ・タウンをめざします。

●遊林会

「里山の保全活動」

- ・「木を伐って森を守る」を合い言葉に、放置され荒れ果てた里山に入り、生物が多様で人が気軽に入れる里山づくりを目指して、里山保全活動を行います。

●滋賀県立大学グリーンコンシューマーサークル

「大学生発！“選んで買う”から始まるグリーン市場」

- ・環境配慮商品の普及促進・購入への促進を行うことで、グリーン市場の開拓を進めます。

●楽農舎なごみの里観光農園

「地域の生ゴミ、未利用資源を活用した循環型農業の実践」

- ・地域の生ゴミや未利用資源を循環型農業で活用することにより、地域で農と食のリサイクルをすすめ、循環型社会を実現します。

一般投票大賞

●エコフォスター茶が崎

「琵琶湖の藻の腐敗前回収と緑地化」

- ・琵琶湖で異常繁殖している藻を回収し、水草の腐敗によるCO₂排出削減をねらいます。

●環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」

「みどりカーテン事業」

- ・公共施設の窓辺につる性植物（ゴーヤ）を植えることで、植物を利用したカーテンを作り、夏場の強い日差しを遮ります。
- ・このことにより、夏期の冷房の使用量を控え、省エネルギーおよび省CO₂を進めます。